



中央給電指令所の見学をする学生たち

とともに、日本のエネルギーの姿を認識し、自分たちがどのような取り組みを進めたらよいかを考えるきっかけを与えることを目的に開催されたものである。

ワークショップ「エネルギー大臣になろう」も実施

同セッションは3月28日、中高生および大学生を対象にJ-POWER本店にて開催された。当日は中央給電指令所の見学のほかに、発電実験とワークショップ「エネルギー大臣になろう」もあわせて実施された。参加した学生たちは、中央給電指令所の見学では、電力の需要は時間、季節によっても違うことや刻々と変化する電力需要に対して各種電源を最適なバランスで組み合わせ、電気を安定的に供給していることなどを学び、そのために昼夜問わず業務に取り組んでいる社員の使命感を

設備更新したばかりの中央給電指令所を見学

このほど、こども国連スプリングセッション（主催…こども国連環境会議推進協会）において、J-POWERの中央給電指令所の見学会が実施された。

豊かな暮らしを営んでいく上で

は、自然環境とエネルギーの両者が欠かせない。しかしエネルギーを得るためには、環境に少なからず負荷をかけざるを得ない。真にエネルギーと環境を共生させるためには、その両者と社会、産業などとのつながりを学び、より良いものにするために不断に取り組んでいくことが必要である。

同セッションは、「社会と人間」というテーマに沿って、J-POWERの全国の電力設備を安定的かつ経済的、広域的に運用するため、各地域の電力会社と密接に連絡を取りながら24時間体制で発電所に運転指示を行っている中央給電指令所の見学を通じて、社会の安全・安心を支える電力システムの大切さを理解す

設備更新したばかりの中央給電指令所の見学

こども国連スプリングセッションでワークショップ「エネルギー大臣」もあわせて実施

編集部



風水力発電キットの実験



シャカシャカライトの実験



「エネルギー大臣になろう」ワークショップの様子

目の当たりにした。また設備更新したばかりの中央給電指令所の最新の高度なテクノロジーに感嘆の声があった。

発電実験では、「シャカシャカライト」「手回し発電」で発電の原理を学び、「風水力発電キット」「やかんタービン」では水力、火力発電の特性について知識を深めた。

また、同セッションではサイエンス・カクテルの協力もあり、ワークショップ「エネルギー大臣になろう」も行われた。学生たちはエネルギー政策のシミュレーションに四苦八苦しながら、大いに盛り上がり、楽しみながらエネルギーについての理解を深めた。